



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月14日

上場会社名 松本油脂製薬株式会社
 コード番号 4365 URL <http://www.mtmtys.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 管理部副部長 (氏名) 勘田 浩之

TEL 072-991-1001

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	31,094	14.0	6,435	59.6	7,994	58.8	5,621	56.5
2022年3月期第3四半期	27,276	28.2	4,033	51.6	5,032	82.7	3,592	80.7

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 5,896百万円 (44.8%) 2022年3月期第3四半期 4,072百万円 (80.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	1,737.61	
2022年3月期第3四半期	1,110.21	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	80,535	68,154	84.4
2022年3月期	76,207	63,392	83.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 67,960百万円 2022年3月期 63,237百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		350.00	350.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				350.00	350.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,500	3.4	7,200	25.0	8,200	6.0	5,700	3.8	1,761.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	4,512,651 株	2022年3月期	4,512,651 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,277,294 株	2022年3月期	1,277,085 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	3,235,427 株	2022年3月期3Q	3,235,752 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、各国政府による新型コロナウイルス感染症防止対策と経済活動の両立が進んだことなどから消費や投資が拡大する一方、半導体不足による自動車の減産、原材料価格の高騰、物価の大幅な上昇とこれに対応するため、各国が利上げをすすめたことにより景気が冷え込んでおります。また、ロシア連邦によるウクライナ共和国への侵攻は収束の気配が見えません。

国内においては物価の大幅な上昇と、外国為替相場では乱高下を繰り返しており先行きの不透明感は更に強まっております。

当社グループとしましては、新型コロナウイルス感染症を主因とする世界的な経済環境の不安定さと変動リスクの長期化を踏まえ、引き続き高品質で価格競争力のある製品の開発を行うとともに、新規顧客・用途開拓活動の推進により収益の維持・向上を進めているところであります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、円安による外貨建売上の為替換算の影響により売上高31,094百万円(前年同四半期比14.0%増)、また、原材料価格、光熱費の高騰があったものの、売上高増加が寄与し、営業利益6,435百万円(前年同四半期比59.6%増)、さらに、円安による外貨建預金等の換算替えを行い為替差益を1,089百万円計上したことにより、経常利益7,994百万円(前年同四半期比58.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益5,621百万円(前年同四半期比56.5%増)となりました。

セグメント情報に記載された区分ごとの状況

① 日本

日本における当第3四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は30,435百万円(前年同四半期比13.4%増)、セグメント利益(営業利益)は6,407百万円(前年同四半期比59.4%増)となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、国内繊維関連における産業資材用途は自動車の生産量は回復してきたものの、内装材向けの加工量は引き続き低調で、衣料用途は底を打ったものの十分な回復には至っておりません。海外向けは総じて堅調で、外部顧客に対する売上高は2,915百万円(前年同四半期比21.9%増)となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、国内でのスポーツ衣料向けは好調に推移しているものの、カジュアル衣料向けは、低調となっており、自動車向け資材も生産調整により低迷しています。また、非繊維工業分野ではトイレットリー向けは好調でしたが、自動車向けが販売縮小となりました。海外向けは総じて堅調で、外部顧客に対する売上高は18,654百万円(前年同四半期比12.5%増)となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、国内での繊維衣料用加工剤やシャンプー・家庭用洗剤向けは好調でしたが、海外向けは低調となり、外部顧客に対する売上高は705百万円(前年同四半期比6.2%減)となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、繊維工業関連では衣料の国内生産は回復しつつありますが、いまだコロナ禍前の数量には戻っておりません。非繊維工業関連では国内では自動車メーカーの生産調整の影響を受けましたが、海外では拡販が進んで前年同期を上回る販売となり、外部顧客に対する売上高は8,159百万円(前年同四半期比14.7%増)となりました。

② インドネシア

インドネシアにおける当第3四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は659百万円(前年同四半期比50.8%増)、セグメント利益(営業利益)は44百万円(前年同四半期比146.0%増)となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、既製品が市場の縮小と原材料調達難から減少しつつある一方、新規採用品の売上がそれを補って余りある結果となりました。その結果、外部顧客に対する売上高は410百万円(前年同四半期比41.3%増)となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、国内では回復基調にあり一部顧客ではコロナ禍前を上回る水準で稼働しております。また海外も昨年より好調に推移しております。その結果、外部顧客に対する売上高は232百万円(前年同四半期比66.8%増)となりました。

陰イオン界面活性剤及び陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、販売数量、販売金額ともに大きな進

展は見られませんでした。その結果、外部顧客に対する売上高はそれぞれ10百万円（前年同四半期比89.3%増）及び6百万円（前年同四半期比218.2%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）比4,328百万円（5.7%）増加して、80,535百万円となりました。流動資産は前期末比4,408百万円（7.3%）増加の64,685百万円、固定資産は前期末比79百万円（0.5%）減少の15,850百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、その他が1,180百万円減少したものの、現金及び預金が3,667百万円、受取手形及び売掛金が890百万円、商品及び製品が657百万円それぞれ前期末より増加したことによるものであります。

固定資産減少の主な要因は、投資有価証券が169百万円、建設仮勘定が81百万円それぞれ増加したものの、機械装置及び運搬具が304百万円、建物及び構築物が51百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比433百万円（3.4%）減少の12,380百万円となりました。流動負債は、前期末比576百万円（5.1%）減少の10,828百万円、固定負債は前期末比142百万円（10.1%）増加の1,552百万円となりました。

流動負債減少の主な要因は、その他が416百万円増加したものの、未払法人税等が537百万円、買掛金が293百万円、賞与引当金が162百万円それぞれ前期末より減少したことによるものであります。

固定負債増加の主な要因は、繰延税金負債が132百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前期末比4,761百万円（7.5%）増加して68,154百万円となりました。純資産増加の主な要因は、利益剰余金が当四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により5,621百万円増加した一方、配当金の支払により1,132百万円減少したことや、為替換算調整勘定が135百万円前期末より増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前期末の83.0%から84.4%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年11月11日に公表いたしました予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表しております「2023年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,654	47,321
受取手形及び売掛金	9,989	10,879
電子記録債権	260	302
有価証券	1	1
商品及び製品	2,425	3,083
仕掛品	611	674
原材料及び貯蔵品	1,393	1,664
その他	1,946	765
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	60,276	64,685
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,467	8,581
減価償却累計額	△5,841	△6,007
建物及び構築物（純額）	2,625	2,574
機械装置及び運搬具	14,501	14,583
減価償却累計額	△11,654	△12,040
機械装置及び運搬具（純額）	2,846	2,542
土地	530	533
建設仮勘定	5	86
その他	1,474	1,494
減価償却累計額	△1,329	△1,347
その他（純額）	145	147
有形固定資産合計	6,153	5,884
無形固定資産		
その他	31	26
無形固定資産合計	31	26
投資その他の資産		
投資有価証券	8,838	9,008
繰延税金資産	10	11
その他	900	924
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	9,745	9,939
固定資産合計	15,930	15,850
資産合計	76,207	80,535

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,436	8,143
未払法人税等	1,708	1,171
賞与引当金	332	169
その他	927	1,344
流動負債合計	11,404	10,828
固定負債		
退職給付に係る負債	993	997
資産除去債務	111	117
繰延税金負債	231	364
その他	72	72
固定負債合計	1,409	1,552
負債合計	12,814	12,380
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,090	6,090
資本剰余金	6,518	6,518
利益剰余金	56,049	60,539
自己株式	△7,326	△7,328
株主資本合計	61,332	65,819
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,891	2,014
為替換算調整勘定	△47	88
退職給付に係る調整累計額	60	39
その他の包括利益累計額合計	1,905	2,141
非支配株主持分	155	193
純資産合計	63,392	68,154
負債純資産合計	76,207	80,535

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	27,276	31,094
売上原価	20,212	21,531
売上総利益	7,063	9,563
販売費及び一般管理費	3,030	3,128
営業利益	4,033	6,435
営業外収益		
受取利息	6	3
受取配当金	115	145
持分法による投資利益	95	62
為替差益	626	1,089
その他	160	263
営業外収益合計	1,004	1,564
営業外費用		
支払利息	0	0
支払手数料	2	3
損害賠償金	0	-
その他	2	2
営業外費用合計	5	5
経常利益	5,032	7,994
特別利益		
固定資産売却益	0	0
有価証券売却益	38	-
移転補償金	-	27
その他	0	-
特別利益合計	39	27
特別損失		
投資有価証券売却損	0	-
固定資産除却損	1	10
棚卸資産廃棄損	-	22
特別損失合計	1	33
税金等調整前四半期純利益	5,070	7,987
法人税、住民税及び事業税	1,411	2,266
法人税等調整額	60	87
法人税等合計	1,472	2,354
四半期純利益	3,598	5,633
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,592	5,621

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	3,598	5,633
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	376	122
為替換算調整勘定	26	76
退職給付に係る調整額	4	△19
持分法適用会社に対する持分相当額	67	83
その他の包括利益合計	474	263
四半期包括利益	4,072	5,896
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,058	5,858
非支配株主に係る四半期包括利益	14	38

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
陰イオン界面活性剤	2,391	5	2,396
非イオン界面活性剤	16,584	290	16,874
陽・両性イオン界面活性剤	752	2	754
高分子・無機製品等	7,111	139	7,250
顧客との契約から生じる収益	26,839	437	27,276
外部顧客への売上高	26,839	437	27,276
セグメント間の内部売上高 又は振替高	233	26	260
計	27,073	463	27,536
セグメント利益	4,019	18	4,037

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,037
棚卸資産の調整額	△4
四半期連結損益計算書の営業利益	4,033

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
陰イオン界面活性剤	2,915	10	2,925
非イオン界面活性剤	18,654	410	19,064
陽・両性イオン界面活性剤	705	6	712
高分子・無機製品等	8,159	232	8,391
顧客との契約から生じる収益	30,435	659	31,094
外部顧客への売上高	30,435	659	31,094
セグメント間の内部売上高 又は振替高	316	27	343
計	30,751	686	31,438
セグメント利益	6,407	44	6,451

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,451
棚卸資産の調整額	△16
四半期連結損益計算書の営業利益	6,435